



逆境は優れたリーダーを創る

ビヨンドトゥモロー

活動ハイライト 2023年度 (2023年4月 - 2024年3月)

April 2023 - March 2024 Activity Highlights

未来は、自分で切り拓く。





「私たちの挑戦は続く」

一般財団法人教育支援グローバル基金
代表理事 橋本 大二郎 (元高知県知事)

ビヨンドトゥモローを応援して下さる皆さま、この一年も誠に有難うございました。おかげさまで、コロナ禍の時代に生まれた、オンラインという手法も活かしながら、ビヨンドトゥモローに集う若者たちに、充実したプログラムを提供することができました。

そんな中、2024年の元日に、石川県の能登地方を、最大震度7という大きな地震と津波が襲いました。



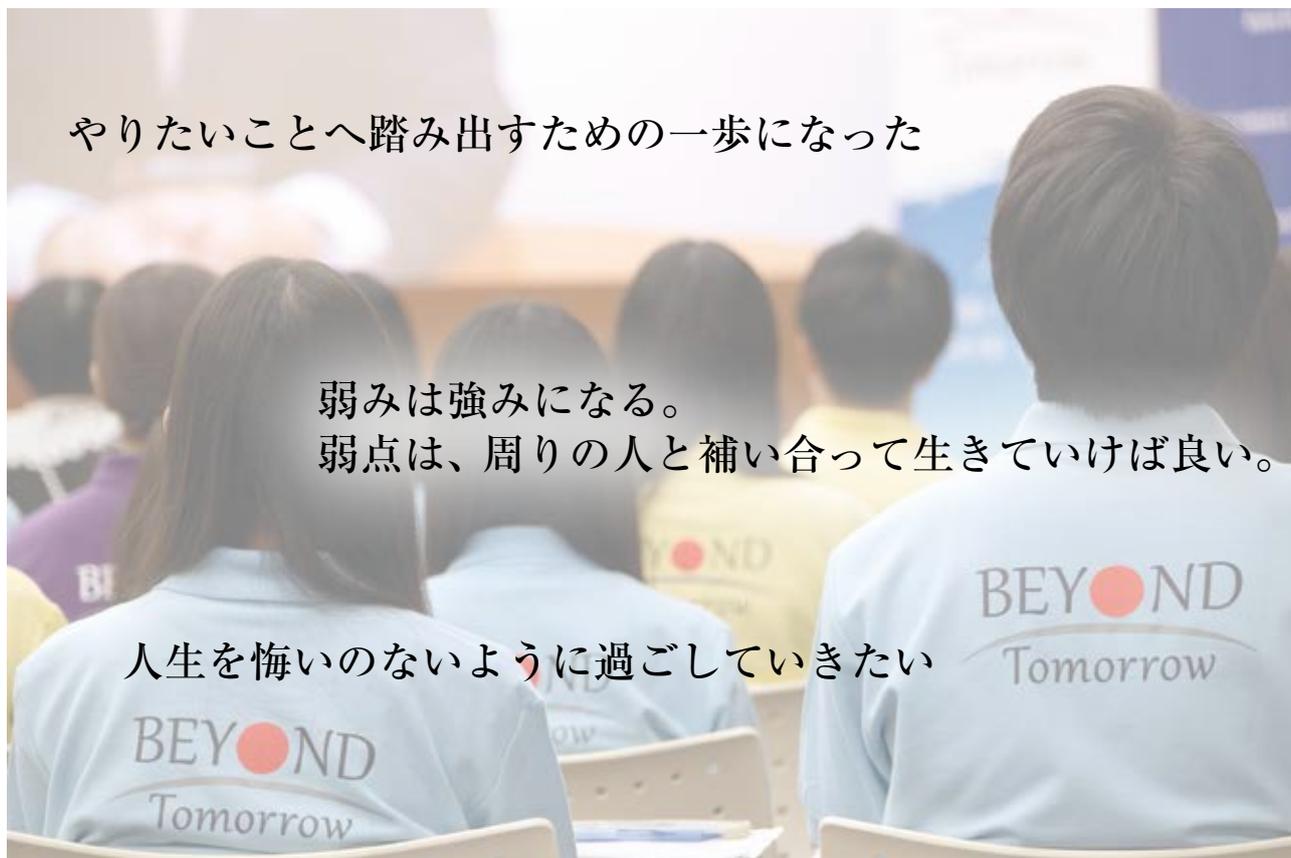
振り返ってみますと、私たちビヨンドトゥモローの活動は、2011年3月の東日本大震災をきっかけに、東北3県の被災地の若者を支援しようと立ち上がった経緯がありますので、能登半島で起きた地震に対しても、何か出来ないだろうかと考えました。

ただ、能登という地理的な条件や、私たちの持つ力の限界もあって、大きな支援は出来ていませんが、この8月のプログラムを石川・福井で開くことで、また、全国から新たに参加者を募集する10月のジャパン未来リーダーズサミットには、北陸の子どもたちのための枠を設けるなど、被災地への支援を原点に持つ、ビヨンドトゥモローならではの取り組みも進めていきたいと思っています。そうした意味で、東日本大震災をきっかけに立ち上がった、ビヨンドトゥモローの初心を思い出しつつ、さらに、虐待や貧困、一人親家庭など、支援の対象を広げてきたその後の10年余りの経験を折り重ねていく、新たな一歩の始まりにしたいと感じています。

ビヨンドトゥモローでは、この6月(2024年)に、各年代の卒業生に参加してもらい、初めてのホームcomingデイを開きました。その中には、ビヨンドトゥモローの一期生として、13年前に、あの日の体験を語ってくれていた女性もいました。すでに苗字も変わり、お中には赤ちゃんがいるという話を聞いて、私たちの活動が、命をつなぐお役に立てたかと感じました。と同時に、これらの先輩たちにも支えられて、ビヨンドトゥモローの裾野を、さらに広げていきたいと思っています。



2023年度 活動ハイライト



やりたいことへ踏み出すための一歩になった

弱みは強みになる。
弱点は、周りの人と補い合って生きていけば良い。

人生を悔いのない^uよう^uに過ごしていきたい

奨学金給付事業

23年度は25名の高校生、大学生を奨学生として迎え入れ、1年間のプログラムを共に過ごしました。奨学金は給付型、また使途不問にすることで、学生は将来的な負債を抱えたり、生活費の心配をしたりすることなく、学業に取り組むことができます。選考においては書類選考や面接を行い、教育関係者や各界で活躍するエキスパートにより構成された選考委員会により奨学生を決定しています。

対象とする学生

親との死別・離別
を経験している

児童養護施設など
の社会的養護施設
や里親家庭に暮ら
している

生活保護受給世帯
に暮らしている

2023年度奨学事業

エンデバー

大学・短大・専門学校への進学を希望する児童養護施設などの社会的養護の施設および里親家庭に暮らす高校生を主な対象とし、人材育成プログラムおよび進学のための受験料を支給します(上限10万円)。

ジャパン未来スカラーシップ・プログラム

高等学校等を卒業し、新たに大学・短大・各種専修学校に進学する学生たちに給付型(返済不要)の奨学金支給を行っています(年間50万円)。

フェロシップ・プログラム

ジャパン未来スカラーシップ・プログラムを修了し、継続して参加を希望する学生に、人材育成プログラムへの参加機会を提供しています(奨学金支給はなし)。

人材育成事業

ビヨントゥモローで提供するのには、『居場所』だけではなく。様々な仲間やロールモデルとなる大人との出会い、社会課題について考える学びの機会、意見交換や発表などでの挑戦の機会を経験することにより、幅広い視野と将来やキャリアの選択肢について考えるきっかけとなります。23年度は5回、仲間と切磋琢磨する対面研修の機会をつくることができました。

「オリエンテーション・プログラム 2023」

～これからの1年を人生に生きるものにするために～

●開催地：山梨県 ●開催期間：2023年3月28日～30日

2023年度生が初めて顔を合わせる機会となった本プログラム。お互いの過去を打ち明けたり、将来のビジョンを共有したり、卒業生やゲストと交流したりする中で、仲間やビヨントゥモローについての理解を深め、これから過ごす1年間について思いを馳せながら目標を設定しました。



班ごとの
ディスカッション



伝えたいキーワードを出し合う



理事との対話

参加した学生の感想

「挑戦してみたい」と思うことはありましたが、自分自身の思い込みや固定概念、環境などを言い訳にして、諦めてしまうことが多くありました。しかし、今回のプログラムを通して、「もっと気楽に考えても良い」「人生なるようになる」と、**前向きに物事を捉えることができるようになったと感じています！** 今後、やりたいことへ踏み出すための一歩になったなあと感じます。

エンデバー・プログラム参加 Kさん
高校3年生

参加した学生の感想

前は将来に関わる話でも、真面目に向き合おうとしていなかった。

けれど、今回のプログラムに参加して、他のエンデバーの皆のよく練られた意見や、それぞれのテーマへの熱量を見たことで、「**自分ももっと意欲的に取り組もう**」「**放置してきた課題を終わらせよう**」と思えるようになった。

エンデバー・プログラム参加
Kさん 高校2年生

「サマー・リトリート 2023」

平和を世界に発信する都市広島から学ぶ

～一人ひとりの未来アクション～

●開催地：広島県 ●開催期間：2023年8月9日～12日

社会を自分事として捉え、主体的に活動される様々なロールモデルに出会った4日間。参加高校生たちは、自身のこれまでの経験をもとに、将来社会にどのような働きかけをしていきたいかについてアクションプランを考え発表しました。



広島菜の産地継承について学ぶ



「平和×〇〇」を軸としたソーシャルビジネスを推進するNPO法人
Peace Culture Village
専務理事 住岡健太氏との対話

「サマー・キャンプ2023」

～これからの社会を生きる上で大切な力～

●開催地：東京都 ●開催期間：2023年9月6日～9日

多様な形で社会にアクションを起こすゲストにお話を伺いながら、参加学生が自ら設定した「解決したい社会課題」に対し、自分たちにできることを考え抜いた4日間。解決の手段は1つではないことや、行動を起こす上で「当事者であること」は大きな強みになることなどを学びました。



米国の学生とオンラインで交流



アクションプランを各班が発表

参加した学生の感想

「一歩踏み出そう」という気持ちが強くなった。

様々な方のお話に共通していたのは「当事者意識」。他の人から見ると「辛い」と思われるような過去を抱えていても、原動力として現在の第一線で活躍されている姿が印象的だった。自分やビヨンドの仲間にも、それぞれ色々なバックグラウンドがあるが、それを原動力として「迷ったら行動!」という気持ちになれた。

ジャパン未来スカラーシップ・プログラム参加 Sさん
大学1年生

参加した学生の感想

これまで、自分はリーダーという役職には向かない人間だと思ってきました。しかし、今回チームリーダーを経験し、班のみんなが終始楽しそうに熱中して提言作成をしていたこと、何かに詰まることもなく進んだこと、何よりみんなが「この班でよかった」「すごく楽しかった。またこの班でやりたい」などと言ってくれてすごく安心しました。”**リーダーという立場で働く自分**”を経験できてよかったです。

ジャパン未来スカラーシップ・プログラム参加 Tさん
大学1年生

「ジャパン未来リーダーズサミット2023」

～分断社会を生きる私たちが未来を創るためにできること～

●支援：BofA 証券株式会社 ●後援：文部科学省

●開催地：東京都 ●開催期間：2023年11月3日～5日

●参加者：2023年度年間奨学生、および一般応募高校生 計約50名

日本全国から約50名の高校生・大学生が集い、現代社会において浮き彫りになっている「分断」による課題について、自身の経験を生かしてできることを考えました。社会人メンターやゲストスピーカーからヒントを得ながら提言を作成し、最終日には社会で活躍するリーダーたちの前で発表しました。



「分断」の解決に向けてのアクションを発表し合う



初めて出会う仲間と3日間考え抜く

「スプリング・プログラム2024」～挑戦しやすい社会のために私たちにできること～

●支援：株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

●開催地：東京都 ●開催期間：2024年3月24日～26日

●参加者：2023年度年間奨学生、および2024年度年間奨学生 計51名

2023年度及び2024年度の学生が一堂に会し、自身に向き合い、仲間の過去や感情に寄り添い、卒業生やゲストとの交流を通して未来や社会に思いを馳せた3日間。最終日には、「若者が挑戦しやすい社会づくり」について、当事者意識をもって意見を出し合い、社会人リーダーの前で発表しました。



23年度生と24年度生の合同プログラム

オンラインでのプログラム

対面プログラムのほか、オンラインにおいても様々なプログラムを実施しました。

「自己分析ワークショップ」

● 2023年5月21日

自分のこれまでの経験や思考を整理し、強みや弱みを知るとともに、潜在的な可能性を把握し、自分のどんなところを生かしたいか・どんなところを伸ばしたいかを理解するためのワークショップを開催しました。



参加した学生の感想

今回のプログラムでは「**弱みは強みになること**」と、「**弱点は周りの人と補い合って生きていけば良いこと**」を学びました。これらの学びから、自分の弱さを認め、強みを活かすような生き方ができそうです。また、今回のプログラムから**周りの人の短所は長所に言い換えられることに気がつきました**。今後は関わる人の長所を積極的に探していきます。

ジャパン未来スカラーシップ・プログラム参加 Nさん
大学1年生

参加した学生の感想

一人で何かを成すことは難しいし、胆力を要するものだけど、**誰かと一緒だと案外簡単にできるかもしれない**ということを学んだ。だから、なにかに**困っている子を見つけたら声をかける**ということを大切にしていきたいと思った。また、自分で何かを抱え込んでしまう癖があるので、**誰かにちゃんと相談をして自分自身もやりたいことに向かって行動を起こしていけるような人になりたい**と思った。一度きりの人生を悔いのないように過ごしていきたい。

エンデバー・プログラム参加 Hさん
高校3年生

「他団体との同世代交流」

● 2023年6月25日

● 参加団体：very50、できること会議、ASOBI 隊、弘前市高校生放課後まちづくりクラブ STEP

社会課題の解決に向けて活動している団体はどんなことをしているのかを知る交流会を5団体で開催しました。「周囲を巻き込むにはどうすればよいか」などの白熱したディスカッションが行われ、同年代の若者との交流を通して社会にアクションを起こすモチベーションを高めました。



ご協賛プログラムの開催

「金融教育プログラムの開催」

フィデリティ投信株式会社様ご提供「金融教育プログラム」
～お金について知り、人生をより豊かに描く～

● 2023年6月20日、30日

6月20日と30日の二回に渡り、フィデリティ投信株式会社様ご協力のもと、「金融教育プログラム」を開催いたしました。講師フィデリティ・インスティテュート 首席研究員 浦田春河氏によるレクチャーによって

「金融教育を通して今後の人生をより豊かに描く」という視点を学び、また学生同士のディスカッションでは『幸せはお金に左右されるか、されないか』というテーマのもと小グループで議論しました。



参加した学生の感想

目の前のことだけではなく、長い目で未来を見据えてお金のことを考えることが重要だと感じた。**お金は手段であり、目的ではない**ということを意識して生活していきたい。

インターンシップ参加 ○さん
大学3年生

キンコーズ・ジャパン株式会社様ご提供

「伝わるパワポ 資料作成のための PowerPoint デザイン講座」

● 2023年12月7日



12月7日ビヨンドトゥモロウの年間奨学生(高校生・大学生)を対象に、「パワーポイントデザイン講座」をキンコーズ・ジャパン株式会社さまのご協賛により開催いたしました。

キンコーズ・ジャパン株式会社様には

10年以上にわたり、ビヨンドトゥモロウの活動をご支援いただいておりますが、これまでの印刷物での御協賛に加え、新しい試みとして、デザインの領域におけるノウハウを学生に講義いただきました。特に、学生の学びに不可欠となってきているツール、パワーポイントにおける実践的な資料作りについてプログラムを実施していただきました。

参加した学生の感想

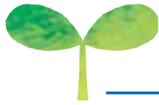
パワポを作るうえでのテクニックを最高に見やすいパワポを使って説明されていたので説得力が桁違いでした。今まで知らなかったことも知ることができたうえ、パワポ作成での悩みも解決することが出来ました。

フェローシップ・プログラム参加 Yさん
大学2年生



その他のご協賛

長年ご支援いただいているキンコーズ・ジャパン様が、オンデマンド印刷やデザインの技術を活かし、オンラインでのプロボノ講座開催に加え、想いを繋げる万年カレンダーの制作にご協賛くださいました。このカレンダーの制作にあたり、23年度インターン生6名が奨学生に向けて1年間の学びを将来に繋げてほしいという想いを込め、企画から参加し、キンコーズ様との協働により制作しました。年度が入っていないため、繰り返し使用が可能な仕様となっています。



リーダーシップ・プログラムによる学生の変化

ビヨンドトゥモロウの奨学生が、一年間の活動を終えて、どのように自分自身の成長を実感しているのか、修了後にアンケート調査を行いました。一人一人がこれからの人生を切り拓くための様々な気づきを得て、次に向かう糧に変えています。

“自分に自信が持てるようになった”

ジャパン未来スカラシップ・プログラム参加
Sさん(大学1年生)

自分に自信を持てるようになり、少しずつ自分を大切にできるようになったと感じます。ビヨンドの活動に参加した1番最初の時、私は自分に対して少し劣等感を感じていました。みんなが逆境を乗り越えてきた人であるからこそ、みんながとてもしっかりとよく見えて、「ないものねだり」のように、他人と比較してしまうことが多かったです。でも、特にサミットでの活動で初めてビヨンドに参加する人もいり、それを上手くサポートできたという実感があり、自分に自信が持てるようになっていきました。

“自己分析ができた”

エンデバー・プログラム参加
Yさん(高校2年生)

以前よりも自分のことを格段とよく知ることができるようになりました。体験共有やディスカッションなどでは、自分に関することや自分の意見を伝えることが多く、深く自己分析をしなければうまく伝えることができませんでした。しかし、ビヨンドでは、自分の得意不得意などについて、自分だけではなく、ビヨンド生が第三者視点からも伝えてくれたので、自分では気づかないことに気づかせてくれました。

“相手に寄り添うことを大切にしたい”

エンデバー・プログラム参加
Yさん(高校2年生)

目の前にいる人はどんな思いを持っているのだろうか、どんな思いでこの言葉を言ったのだろうか、今から言う言葉は相手を傷つけないかなど、1度立ち止まり、考え、相手に寄り添うということを、これからもさらに心掛けていきたいと思っています。辛いことや苦しいこと、逃げ出したいくなったときには、皆の存在を思い出し、目指す道へと歩んでいきます。

“自分だからこそできることをしたい”

エンデバー・プログラム参加
Kさん(高校3年生)

ビヨンドに参加していなければ、「誰かのために自分だからこそできること」をしたいという気持ちは生まれなかったと思います。元々、自分だからこそできる・自分にしかできないことをしたい、という気持ちはありました。しかし、それが何なのか、そして私自身何ができるのかは分かりませんでした。正直言ってしまえば、そんなことは今でも分かりません。ですが、ビヨンドに参加したからこそ、自分自身のその思いを真剣に見つめ直すことが出来ました。

“諦めずに得た達成感”

フェローシップ・プログラム参加
Yさん(大学2年生)

私は弱い人間なので目の前に壁ができるとすぐに諦めて逃げたり、そこで立ち止まったりしてしまいがちです。だけど、この1年間はたくさんの壁にぶち当たりながらも、少しずつ少しずつ進んできました。そして、その経験によって仲間や達成感を得ることができました。これからの人生も、今まで通りたくさんの壁が目の前に現れると思うけれど、ビヨンドですごした私なら、その壁にも立ち向かえそうです。時間は人一倍かかるだろうし、傷つくこともあるかもしれないけれどビヨンドでの経験と仲間と思い出があるので「大丈夫、なんとかなるさ〜」って思いで進んでいきます。



その他の活動

クラウドファンディング

2023年度「ジャパン未来リーダーズサミット」に伴い、「GoodMorning」(グッドモーニング)にてクラウドファンディングを実施しました。クラウドファンディングを通じて約140万円の資金を皆様からご支援いただきました。多くの方々より応援いただきましたおかげで、昨年より10名多くの学生を受け入れ、社会課題に取り組む意欲ある若者たちに、充実した学びの機会を提供することができました。ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

| | |
|------|-------------------|
| 実施期間 | 2023年9月15日～10月25日 |
| 支援者数 | 60名 |
| 支援金額 | 1,405,000円 |



リターンイベントも開催しました!

クラウドファンディングのリターンとして、ビヨンドトゥモロウの代表理事 橋本大二郎および役員である楽天グループ株式会社チーフウェルビーイングオフィサー小林正忠氏、スタディサプリ教育AI研究所所長・東京学芸大学大学院准教授小宮山利恵子氏によるスペシャルオンライントークを開催しました。

これからの時代に求められる人材の資質や若者に必要な学びについてそれぞれの意見が述べられました。参加者との質問タイム

では、教育やリーダーシップについて意見交換が行われました。

また、ビヨンドトゥモロウ卒業生との交流会や、オフィシャルサポーターからのお礼の品もご用意し、多くの方々にご喜んでもらいました。

皆様のご支援により、困難な状況にある高校生が自身の将来や社会の未来について考え、発信する場の提供が叶いました。



イベント

「コレカラ終活フェア ～人生をもっと楽しく、もっと自分らしく～」

● 2023年12月4日 ● 会場：すみだ産業会館

相続や終活に関する情報を提供する「シニアと家族の相談室」(株式会社鎌倉新書)による無料セミナーに参加し、歌手吉幾三氏と代表理事橋本大二郎の終活に関するトークショーを行ったほか、終活川柳大賞の発表、その他様々な終活に関する最新の情報が紹介されました。



終活イベントでの活動紹介

「橋本大二郎と考える『相続』と『終活』」

● 2024年3月29日 ● 会場：調布市文化会館たづくり

「シニアと家族の相談室」を運営する鎌倉新書および夕刊フジ、一般社団法人よろずパートナーズと共催で、相続と終活を考えるためのイベントを開催しました。自身の人生をどう社会に活かすかという視点から、終活の一つとして社会貢献活動を行う団体等への遺贈寄付について、代表理事橋本がビヨンドトゥモロウの活動紹介とともにお話ししました。



菅野翼 さん Tsubasa Sugeno

所属：BREAAX Partners Consulting Inc.



ビヨンドトゥモローに初めて参加した時はまだ18歳の高校生で福島県の片田舎で育ち、右も左も分からなく将来に戸惑っていた私も気が付けば、そこからもう10年以上がたち、30代としての新たな人生のスタートラインに立っていることにまずは驚きを隠せないというのが今の正直な気持ちです。

思い返せば、1期生として最初に参加した時は、参加メンバーが胸の内や想いを自分の言葉として絞り出しているのを見て、「あ、自分は確固たる想いとか、さらけ出せる経験がないし、どう自分を出しているのかも、将来やりたいことも分

からないな」というのが強い印象として残っていました。ですが、初めてビヨンドトゥモローでの研修でアメリカにいき、これまで自分が全く知らない世界で活躍しているリーダーと呼ばれる方々の「熱量」を目の当たりにして、強烈な憧れと共に、自分自身が社会に対して能動的にアクション出来るリーダーになりたい、見たことのない世界や景色がみてみたいと強く思うようになりました。そこからどういう自分になりたいかを日常的に意識するようになり、チャンスには全て飛び込むということをしていました。ある意味こうなりたいという妄想に近いものを常にしていました。

この経験をもとに、小さいことからでもチャレンジを続けることを意識し、学生時代は、地域における留学生の就職支援の団体を創設、イギリス・アメリカへの海外留学、海外就職活動、メガベンチャーでの長期インターンと活動し、社会人1年目もインドでITの仕事に従事と、とにかく少しでもストレッツチするために挑戦をしまくりました。

日本に帰国後は、外資系のコンサル会社で新規事業、組織を立ち上げたり、知見が薄い会計・金融領域におけるプロジェ

クトをリードし賞を受賞するなど、多様な挑戦が今の自分を形作っているかと感じます。

現在は独立し、経営コンサルの事業を立ち上げてからもうすぐ1年が経とうとしています。今の仕事は、上場企業を中心にグループ会社のHD化のご支援やファイナンス周りのプロセス改善支援、事業移管支援やDXの変革支援など領域が多岐にわたる中で、顧客のニーズに単に応えるだけでなく、限られた時間の中でアウトプットに拘り、ストーリーを意識したサービスを提供できるように努めています。

その中でまさに顧客に価値があると思ってもらっていることは、振り返ってみると、幾度となくビヨンドのサミットなどで、自分が知らない領域を自分事のテーマとして捉え、ゴールに向かってメンバーの意見をインプット・整理しながら、限られた時間の中で、自分たちの想いを形として発信していた経験が、仕事として価値を作り出す基礎になっていたかと感じます。



ビヨンドトゥモローでの活動当時

小岩真純さん Masumi Koiva

所属：求人広告代理店



ビヨンドトゥモローを知ったのは高校3年生の春です。非課税世帯の父子家庭に育ち、アルバイトをして貯めていた学費も生活費にしなければならぬ事態に直面しました。それでも大学に進みたいという思いを捨てきれず奨学金を探していたとき、進路担当の先生がビヨンドトゥモローのHPを教えてくださいました。

正直なところ、応募時は「奨学金のため」以外の理由を見つけられていませんでした。どうにか自分も大学で学びたい、その一心だったことを覚えています。

ところが、面接の時点からどこか心が落ち着かない。出会ったばかりの年代と短時間で答えの出ない議論をする、同年代が歩んできた人生の一端に触れる。そうしていつの間にかメンバーを知り、自分のことも知ってほしいと希求している。

ビヨンドトゥモローの活動では海外研修や提言作成・発表など、様々な非日常的体験をすることができですが、真つ先に思い出すのは人との関わりです。移動時間や寝る時間も惜しんで会話も対話もすると、「なんだ私、もう少し頑張れそうじゃないか」と自分を鼓舞できたことを覚えています。

奨学金のおかげもあり通うことができた大学では、刑法を専攻していました。もともと長野県の松本少年刑務所内にある中学校の事例に強い関心を

持つており、法律そのものを検討することよりも、権利擁護の観点から福祉や生涯教育を併行して学びました。

今は公務員・子ども支援のNPO職員を経て、専攻や興味とは少し離れた職に落ち着いているのですが、ライフワークとして中学生向けオンラインアカデミー「D'stadium」のプロボノスタッフを続けています。そこでは生徒数の少ない中学校を複数オンラインで繋ぎ、学校とも異なる時間をつくり、空間や世代を超えた相互理解の場を設計中です。

生きていくことがやっとなった高校生の自分は、奨学金のおかげで大学に進学し、その期間に出会った人の生き方に触れたこと・自分を知ってもらえたことで、「他者のために何かできる人間でありたい」と思っています。今日も生きています。



ビヨンドトゥモローでの活動当時

なつみ さん Natsumi
千葉県内大学在学中

奨学金検索サイト『Miomus』立ち上げに挑戦中！

私はビヨンドトゥモローを卒業してから、朝日新聞厚生文化事業団の支援活動の中で、奨学金検索サイト「Miomus」(ミオムス)の立ち上げを行いました。受験期に奨学金探しに難航した経験から、現状を変えたいと思い企画し、現在はチームでサイト運営を行っています。

初めは「いつかサイトを作りたいな」と思うだけでしたが、ビヨンドトゥモローで出会った仲間たちがそれぞれの目標に向かって果敢に挑戦していく姿を見て、「私も今頑張ってみよう！」と踏み出す勇気ももらいました。また、サイト運営チームのリーダーを務める際、ビヨンドトゥモローでの提言発表やリーダー経験が活かしたなど感じる場面が多くありました。



奨学金探しの経験からサイトを立ち上げ



Miomus のホームページ
<https://www.miomus.net/>

失敗を恐れずに発言できるようになったり、仲間の得意不得意に合わせて役割を割り振ったりなど、誰かと共同作業する際に必要なスキルが身についたと実感しています。ビヨンドトゥモローやサイト立ち上げの経験をもとに、今後も社会の課題に対し自分にできることを探し、挑戦し続けたいと思っています。

奨学金の受給者が増えています

現在、日本国内の大学生の半数以上が奨学金を受給し、その数は増加の傾向にあります。給付型奨学金よりも貸与型奨学金の受給率の方が高い一方で、貸与型の受給者は、その多くが将来の返済に不安を抱えているほか、給付型奨学金についての情報が十分に行き届いていないという課題もあります。¹

奨学金の受給率

55.0%

返済に不安がある

69.8%

給付型奨学金についてよく知らない

70.9%

¹ 受給率：日本学生支援機構「令和4年度学生生活調査結果」

不安：全国大学生生活共同組合連合会「第59回学生の消費生活に関する実態調査（2023年）」

給付型奨学金について：ガクシー「奨学金に関する実態調査2023年」プレスリリース

奨学金の情報源

n=456 ※複数回答



また、奨学金の情報源はアナログな方法が多く、大学受験の勉強と奨学金探しの両立は、学生にとって大きな負担となります。奨学金・授業料減免の制度自体の拡充を望む声が見られるとともに、効率的な情報収集の方法や正しい知識の普及が必要とされています。²

² ガクシー「奨学金に関する実態調査2023年」プレスリリース

役員からのメッセージ

新理事からの挨拶（2024年6月就任）

理事

元広島県教育長 平川 理恵

「逆境は優れたリーダーを創る」と言っても、人間は一人ではなかなか多くのことに立ち向かっていけないと思います。そんな時、「仲間」がいれば、少し「勇気」が湧いてくる、「次へのステップ」に踏み出そうとできる。若いながらも人生の難しい側面に出会ったとしても、ビヨンドトゥモローの経験やそこで出会った同世代・異世代の仲間たちと乗り越えていける・・・そんなあたたかい社会になることを信じています。



真っ直ぐで、強く優しい心の次世代を育む

評議員

元衆議院議員 / 一般財団法人勁草日本イニシアティブ代表理事
塩崎 恭久

国会議員として28年間、国づくりに携わらせて頂きましたが、結局一番大事なことは、人づくりです。中でも、困難な状況に置かれた若い世代が、どのようにして未来を切り開くことができるかが重要です。子どもの権利を日本の法律に初めて書き込むなどの児童福祉法抜本改正を行いました。それは、いかなる境遇にあろうとも若い世代一人一人の健全な発育、人格形成を応援する、そのための社会の再構築でした。その際、公的部門での大改革はもとより、民間における自然な応援体制の構築が大事であり、ビヨンドトゥモローは、その主導的役割を果たすべきと思います。私も微力を尽くして参ります。



ご協力企業、支援者様からのメッセージ

ご協力企業

キンコーズ・ジャパン株式会社
広報・サステナビリティ推進部

部長 野上 朝子様



キンコーズは、学生向けコピーショップとしてアメリカで創業した歴史を持ち、多くの学生や起業家と共に成長してきました。自身の逆境に負けず、志を持つ若者を支えるビヨンドトゥモローの活動に、微力ながらも力になれることは、大変嬉しいことです。

印刷物を通じたサポートに加え、昨年度は体験型プログラムとして、新たに2つの取り組みを展開しました。一つ目は、弊社デザイナーが講師となり、「伝える」をテーマにしたパワーポイント講座です。「学んだことを活かしていきたい！」という声を多くいただき、私たち

も大変嬉しく思います。二つ目は、一年間の活動を卓上カレンダーとしてまとめ、デザインからインターン生に取り組んでいただき、奨学生の皆さんにお渡し致しました。カレンダーには皆さんの笑顔や未来への想いが溢れています。その想いを大切に、今後の皆さんの成長を心より応援しています。

ご支援者様

日本銀行業務局総務課長 和田 真一様

2015年頃から、サミットのメンターなどの立場で、ビヨンドの活動に関わっています。これまでも、わずか数日間のイベントの中で、濃密な時間を過ごした参加者が、目に見えて成長するとともに、新たなふるさを見つけたような感覚で帰っていくのを何度も目にしてきました。また、コロナ禍のもとではイベントの運営が本当に大変でしたが、そこで編み出された運営の工夫が、ビヨンドの活動の魅力をさらに高めてきたことと思います。最近、卒業生のネットワークも広がってきて、ビヨンドの歴史を語り継いでいく楽しみも大きくなってきました。これからも、一人一人の学生にとって、ビヨンドがスペシャルな場になることを、大いに期待しています。



ビヨントゥモローの活動の全てが、
活動の趣旨にご賛同くださった多くの企業・個人の皆様からの
ご寄付・ご支援によって支えられています。

令和6年能登半島地震に向けたご支援を受付中です

ビヨントゥモローでは、能登半島地震をうけて、北陸地域の若者が未来を前向きに見据えられるよう、支援を行っていきます。8月に石川県輪島市での活動を予定しているほか、10月のジャパン未来リーダーズサミットには北陸地域の学生を特別枠として募集します。一人でも多くの若者に参加の機会を提供したく、ご支援のほどお願い致します。

能登半島地震へのご支援をご希望の方は、**ホームページまたは公益財団法人信頼資本財団を通じたご寄付※1**によりご支援をお願いいたします。また、ご寄付の際はメッセージ欄にその旨をお知らせください。



ご寄付に関するお問い合わせ

電話 **03-5453-8030** (受付時間 平日 10:00 ~ 17:00)

電子メール info@beyond-tomorrow.org



※1 ご寄付による税制優遇について

公益財団法人信頼資本財団を通じたご寄付により、寄付金控除の優遇措置を受けることができます(2025年2月末で終了予定)。詳しくはお問合せ下さい。

<https://beyond-tomorrow.org/donate/#howtodonate>

様々なご寄付の方法があります

オンライン決済、銀行振り込みなどによるご寄付



銀行振込、クレジットカード払い、Vポイント、楽天 Pay など、ご寄付をいただくことができます。詳しくは、当財団ウェブサイト (<https://beyond-tomorrow.org/>) またはお電話 (03-5453-8030) でお問い合わせください。



遺贈によるご寄付

遺言状や遺言信託による遺贈寄付の他、相続によるご寄付、お香典のご寄付をいただくことで、ご自身の財産や大切な方のご遺志を、未来を担う次世代の若者支援にご活用いただけます。遺言書の作成や、財産のご寄付について相談できる、信託銀行及び弁護士などの専門家のご紹介を希望される方は、当財団までお問い合わせください。



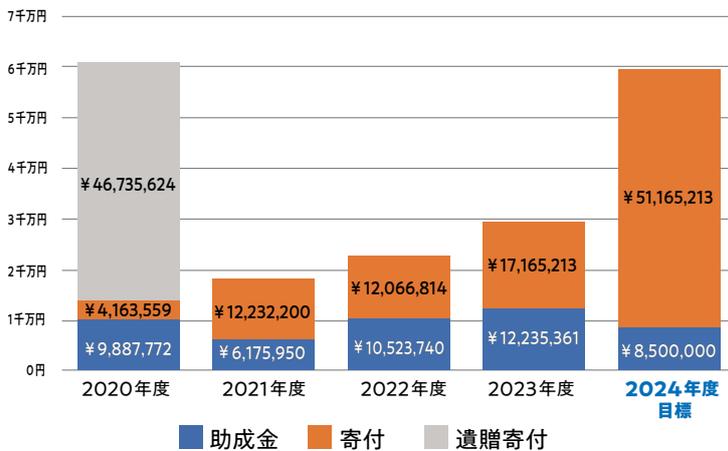
商品やサービスによるご支援

物品やサービスの無償でのご提供や、オフィスなど施設・会場の提供、プロボノでのアドバイザーのご協力など、様々な形でご支援をいただくことができます。

2023年度会計報告 2023年4月1日から2024年3月31日まで

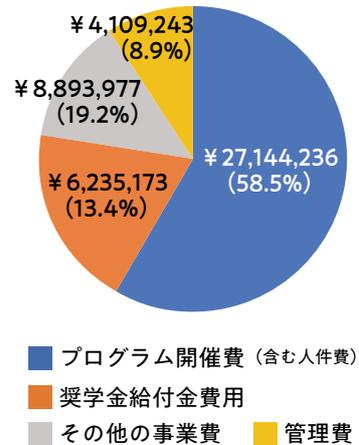
収益の内訳

遺贈寄付、寄付、助成金の推移 (24年度目標を含む)



支出の内訳

経常費用の使途
46,382,629円



収入計

| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入計 | ¥60,786,955 | ¥18,408,150 | ¥22,590,554 | ¥29,434,486 |

2023年度の収入はご寄付および助成金で29,434,486円となりました。また、支出においては、6,235,173円を奨学金として給付、人材育成プログラム開催費(含む人件費)として27,144,236円となり、全体の支出の71.9%を困難な環境にある若者

への活動へと利用させていただきました。2024年度は公益財団法人化を目指しており、より多くの皆様からのご支援をいただけるよう、活動してまいります。

※事業報告書、決算報告書はビヨントゥモローのホームページ内「情報公開」にてご覧いただけます。

一般財団法人教育支援グローバル基金 及び ビヨントゥモローについて

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン(地球市民)の輩出をめざす「ビヨントゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、親との死別・離別を経験したり、児童養護施設に暮らすなどの困難を経験した若者を対象に、奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を行い、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

Vision - 私たちが目指す社会

困難を経験した若者たちが逆境に負けることなく挑戦し、リーダーシップを発揮することで多様な声が反映される社会

Mission - 私達の使命

経済格差や機会の格差を超え、困難を経験した若者に学びの機会を提供し、挑戦を支援します。広い視点と深い共感力を持ち、リーダーシップを発揮して社会で活躍できる人材の育成を目指します。



【組織体制】

| | | |
|--------|---------|--------------------------------------|
| 代表理事 | 橋本 大二郎 | 元高知県知事 |
| 理事 | 小林 正忠 | 楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフ ウェルビーイング オフィサー |
| | 本庄 竜介 | グリーンコア株式会社 代表取締役 |
| | 村瀬 悟 | メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士 |
| | 平川 理恵 | 元広島県教育長 |
| 評議員 | 塩崎 恭久 | 一般財団法人勤草日本イニシアティブ代表理事 |
| | 宮城 治男 | NPO 法人 ETIC. 創業者 |
| | 小宮山 利恵子 | スタディサプリ教育 AI 研究所所長・東京学芸大学大学院准教授 |
| アドバイザー | 阿川 尚之 | 慶應義塾大学 名誉教授 |
| | 竹中 平蔵 | 慶應義塾大学 名誉教授、元国務大臣 |
| 監事 | 上滝 賢二 | 元日本放送協会理事 |

是非「いいね!」ボタンを押したり、
投稿のシェアで応援をお願い致します!



プログラムの様子や最新情報を発信しています!



@beyondtomorroworg



@beyondtomorrowjapan



@tomorrow_beyond



「ビヨンドトゥモローってどんなところ?」の疑問に答える情報がたくさん!
是非学生のみなさんに見ていただきたいコンテンツを発信しています。

【設立年月日】2011年6月1日 【ウェブサイト】<https://beyond-tomorrow.org/>

【所在地】〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F

【電話】03-5453-8030 【FAX】03-6745-9100 【メール】info@beyond-tomorrow.org

kinko's
On Demand Solutions



この冊子は、キンコーズ・ジャパン株式会社様からのご協賛により印刷しています。